

春季年会は、化学に関する学術の進歩普及・産業の発展および生活の向上を狙いとして、およそ化学という言葉が包括するあらゆる学問領域や分野からの研究者が一堂に会して日頃の研究成果を発表する場であり、その討論を通じて学術交流を奨励・促進する場です。



第102春季年会は完全オンラインで開催します。対面での開催を目指して準備してまいりましたので大変残念ではありますが、オンラインの利点を十分に生かして、アジア国際シンポジウムなど多彩なプログラムを用意しております。オンラインの利点の1つは、旅費がかからないことです。発表のない学生の方も、研究室、自宅あるいは外出先からでも、大変気軽にご参加いただけます。特に学生の直前参加登録費は早期申込と1,000円しか変わりません。3月16日(水)から直前登録が可能になります。ぜひ、1人でも多くの方のご参加、ご聴講をお願い申し上げます。

(実行委員長 松本卓也)

主 催 公益社団法人 日本化学会

会 期 2022年3月23日(水)~26日(土)

開催方式 オンライン方式

実行委員長 松本卓也(大阪大学大学院理学研究科・教授)

内 容 会長講演

アカデミックプログラム

受賞講演、外国人の特別講演、若い世代の特別講演、  
口頭A講演、口頭B講演、ポスター

シンポジウム

イノベーション共創プログラム、中長期テーマシン  
ポジウム、アジア国際シンポジウム、特別企画

併催シンポジウム

コラボレーション企画、本会委員会主催シンポジウム

講演予稿集発行日 2022年3月9日

問合せ先

日本化学会 企画部 年会係

〒101-8307 東京都千代田区神田駿河台 1-5

URL: <https://confit.atlas.jp/guide/event/cs102nd/top>

■実行委員会では、海外の研究者や国内の外国人研究者、留学生が参加しやすい環境整備を進めています。昨年に引き続き、参加登録費の負担に配慮した「外国籍(一般)」、「外国籍(学生)」の参加登録区分を設定します。※会員・非会員を問わず、参加申込の際に選択が可能です。

■講演予稿集の発行形式はWebのみです。会期が終了して3ヵ月ののち、年会参加者以外による閲覧を可能とします。

## 参加登録

[注意事項]

講演申込者・講演者(登壇者)・連名者(共著者)の如何にかかわらず本年会に参加される方は、全員参加登録が必要です。

## 1 登録期間

(直前申込) 2022年3月16日~会期最終日

## 2 登録方法

春季年会ウェブサイト上の参加登録フォームよりお申し込みの上、参加登録費をお支払い下さい。

## 3 参加登録費

会員区分	参加登録費 (直前申込)	課税区分
正会員	18,000円	不課税 ※税の適用の対象外です。
法人正会員*1	18,000円	
正会員割引*2	10,000円	
学生会員	6,000円	
学生会員割引*3	4,000円	
教育会員	10,000円	
教育学生会員	7,000円	
中高生会員*4	—	課税 ※左記の金額は税込です。
入会準備学部学生*5	—	
非会員	30,000円	
外国籍(一般)*6	10,000円	
外国籍(学生)*6	4,000円	

\*1 日本化学会の法人会員に登録している機関に所属の方。

\*2 満60歳以上で定職に就いていない方。

\*3 学部3年以下の方(専攻科1年以下の高専生を含む。通称:ジュニア会員)。

\*4 講演をする場合。聴講のみの場合は招待とします。

\*5 研究発表を行わない非会員(未入会)の大学の学部学生および高等専門学校が対象。

\*6 会員・非会員を問わず、外国籍の方が対象。

## 4 支払い方法

支払い方法はクレジットカード払いのみとなります。

- 支払い完了した後、参加登録フォーム内にて領収書を発行します。領収書の発行はPDF形式のみです。
- 請求書は、参加登録および決済手続き開始後に、参加登録フォーム内にて発行します。PDF形式のみです。書式の変更等には対応いたしかねます。公費払い・校費払いの場合も同様に書式変更には対応できません。
- 郵便振替でのご送金は承っておりません。

## 5 参加の案内

オンライン方式での参加の方法については、メールでご案内いたします。なお、参加登録票の発行はございません。

## 各種企画一覧

本年会での行事，企画は下表の通りです。プログラム等の詳細情報は春季年会ウェブサイトにてご確認ください。

分類	企画名	23 日(水)		24 日(木)		25 日(金)		26 日(土)	
		AM	PM	AM	PM	AM	PM	AM	PM
	会長講演 ※開催時間帯に注意。15:30-16:00				●				
	市民公開講座 これからの医・食・住に貢献するかがく						●		
	付設展示会	●	●	●	●	●	●		
▼ 以下は『シンポジウム企画』です。春季年会の参加登録が必要です。									
イノベーション共創プログラム(CoP)	デジタルトランスフォーメーションがもたらす化学・材料領域のイノベーション					●	●		
	規則性ナノ細孔でエネルギーと環境に挑戦：PCP/MOF 最前線							●	●
	インフォマティクスの基礎	●	●						
	マテリアルズ・インフォマティクスの表面・界面系への拡張			●	●				
	脱炭素社会を見据えた太陽エネルギー利用～太陽電池の研究開発から～			●	●				
	カーボンニュートラル実現に向けたイノベーション～CO <sub>2</sub> フリー水素製造・触媒的カーボンリサイクル技術を中心に～					●	●		
	カーボンニュートラルを実現する革新的蓄電デバイス	●	●						
	未利用熱エネルギー活用革新的技術 ー低炭素社会の開拓へ向けてー							●	●
	未来の医療・ライフサイエンスを支えるスマートケミストリー	●	●						
	感染症を診断・予防するヘルスケアテクノロジー			●	●				
	難病と闘うモダリティ新時代の創薬・バイオベンチャー							●	
シンポジウム	国際ガラス年：進化し続けるガラス ー新たな特性とアプリケーションの進展ー					●	●		
	分子から創る Spin Qubits の最前線				●				
	高密度共役物質の未来～新しい電子共役から生み出される機能～		●						
	生物現象鍵物質の研究展開	●							
	人工光合成技術の社会実装に向けた課題そして展望	●							
	革新的触媒：未来へ			●					
アジア国際シンポジウム	次世代分子システム化学のフロンティア協奏的機能の創出と計測		●						
	International Symposium on Molecular Science —Physical Chemistry / Theoretical Chemistry, Chemoinformatics, Computational Chemistry— Cosponsored by Japan Society for Molecular Science	●	●						
	Asian International Symposium—Photochemistry—					●			
	Asian International Symposium—Coordination Chemistry and Organometallic Chemistry—	●							
	Asian International Symposium—Advanced Nanotechnology—				●				
特別企画	Asian International Symposium—Colloid and Surface Chemistry—				●				
	配位テンプレートロジーに基づく高機能物質の創製			●					
	光化学の新展開：電荷移動状態を操る！						●		
	低次元材料がもたらす電子・光機能	●							
	細胞産生微粒子の分析に挑む：細胞外小胞と細胞内相分離液滴				●				
	化学者のための放射光ことばはじめ—XAFS の基礎と先端応用						●		
	ルミネッセンス化学アンサンブル：未来のサイエンスに向けた多様な励起化学								●
	抗菌・抗ウイルス機能を付与する無機材料設計				●				
	自然環境と社会からのメッセージ～「化学への期待」！								●
	モビリティ用電池の化学	●							
	赤外線の化学利用—近赤外からテラヘルツまで—					●			
▼ 以下は併催シンポジウムです。年会の参加登録は不要でどなたでもご参加いただけます。									
シンポジウム	全固体電池のプロセスサイエンス				●				
	ヒューマン・フロンティア・サイエンス・プログラム：最先端のライフサイエンスのための国際共同研究プログラムへの招待				●				
	(JST) CREST 「革新的反応」研究成果報告会		●						
シンポジウム	第 28 回化学教育フォーラム							●	
	男女共同参画：ホントはどうなの？職場環境～性別の異なる上司と部下～								●
	天然物および生物有機化学に関するナカニシシンポジウム 2022		●						
	ケミカルレコード・レクチャー 2022 ※開催時間帯に注意。16:10-18:50		●						